



蒲生 中学校

郵便番号

536-0005

所在地

城東区中央3丁目9-24

電話番号

(06)6932-5527

FAX

(06)6932-6362

校長名

渡邊 哲朗



【概要】 城東区の北西部、大阪メトロ鶴見緑地線「蒲生四丁目」駅より北へ約400m、京阪電車「野江」駅・「JR野江」駅より南東へ約300mに位置し、蒲生公園へ隣接しています。榎並・成育・聖賢小学校が基本的な校区となります。

【教育目標】 校訓は「わが校を愛し、学習に励み、礼儀正しくしよう。」です。大阪市教育振興基本計画の最重要課題をふまえ、「安全・安心な教育の推進」、「未来を切り拓く学力・体力の向上」、「学びを支える教育環境の充実」を、本校で実現させていきます。

【沿革】 昭和22年4月1日、大阪市立城東第二中学校として創立。昭和24年5月1日、校名を大阪市立蒲生中学校と改称いたしました。今年で創立79年目、生徒数は676名の大規模校です。

運営に関する計画《中期目標の達成に向けた年度目標より抜粋》

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を昨年度以上にさせる。(昨年度32.3%)
- 年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。(昨年度84.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間に起きること)」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一日集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を60%以上にする。
- 年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を70%以上にする。
- 授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等ICT活用が適さないに数を除く)(昨年度1.8%)
- 教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。
- 教職員の働き方改革に関して、時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和7年度調査結果の概要】

	国語	数学
本校平均正答率	53%	50%

	国語	数学	理科IRTスコア
本校平均無回答率	5.9%	10.3%	491

各教科とも平均正答率は大阪市の平均よりは高い値である。生徒の学習は、真面目で落ち着いた雰囲気で授業が展開できている。しかしながら、国語の記述式問題や選択式問題の平均正答率が全国平均を下回る傾向にある。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

ICTの活用と令和7年度の学力向上支援チーム事業による授業力向上に取り組んだ。結果として、大阪府チャレンジテストにおいては、ほとんどの学年教科で大阪府・大阪市の平均正答率を上回った。下回った教科については、課題を明確にして重点的に取り組んでいく。令和8年度も授業力向上と一層の読解力の向上と探究心の養成に取り組む、主体的に深い学びを求める生徒を育成する。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和7年度調査結果の概要】

種目別平均値									
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	29.17	27.99	38.35	55.66	83.01	7.99	192.59	19.13	42.29
女子	26.35	25.00	40.64	53.13	57.62	8.54	170.22	12.68	53.22

男女ともにすべての調査種目で全国・大阪市平均を上回っている。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

保健体育の授業や体育的行事における取組は、どの学年の生徒も積極的な姿勢と高い意欲を維持している。柔軟性を高め、瞬発力を高める運動に取り組む必要がある。運動能力には2極化の傾向が見られ、運動部に所属しない生徒に十分な運動量を確保することが今後の課題である。

学校のアピールポイントなど

◆ 校訓

「わが校を愛し、学習に励み、礼儀正しくしよう」

◆ 学校教育目標

「自ら学び、考え、判断・行動できる生徒の育成」

◆ 重点

- 思いやりのある心の育成
- 規範意識の確立
- 読解力の向上
- 言語能力の育成
- 探求心の養成

◆ 校内授業研究会

- 校内外で研究授業・研究協議を実施し、授業力評価アンケートや定期テストの結果から詳細な授業力分析を実施するとともに、授業改善に取り組んでいる。

◆ 学校情報化優良校

- ICT環境の整備と活用の充実が評価され、JAET(日本教育工学協会)から学校情報化優良校の認定を受けている。

◆ 不登校傾向のある生徒への支援

- 区役所との連携事業で校内にスクールサポートルーム(通称SSR)を設置して、不登校傾向のある生徒が自分のパーソナルスペースが確保できる場所(ブース)を作り、いつでも気軽に登校できる体制を整備している。教室に戻るためのステップとして活用している。

◆ 学校安心ルール(蒲生バージョン)の順守

- 明るいあいさつと服装のTPO、立ち居振る舞いのマナーの徹底を心がけ、生徒会や各専門委員会を中心に自発的にルールの作成や規範意識の向上に取り組んでいる。

◆ 活気ある部活動

＜吹奏楽部＞ 第64回大阪府吹奏楽コンクール(銀賞)、第38回全日本マーチングコンテスト(金賞)、第31回日本管楽合奏コンテスト全国大会(優秀賞・野中貿易賞)、第49回全日本アンサンブルコンテスト(金管七重奏・銀賞)

＜男子バスケットボール部＞ 大阪市春季総体ベスト8、大阪選手権大会ベスト8、大阪市秋季総体ベスト8

＜女子バスケットボール部＞ 大阪市春季総体ベスト8、大阪市秋季総体ベスト8

＜女子ソフトテニス部＞ 2ブロック3年大会ベスト4、2ブロック2年大会準優勝・ベスト4、2ブロック団体戦優勝

＜剣道部＞ 修道館杯 個人女子ベスト4、大阪府選手権大会 男子団体ベスト32

＜陸上競技部＞ 大阪市ブロック大会 女子 走り幅跳び2位、200m1位、男子400m2位、三段跳び3位

＜その他＞ 野球部、サッカー部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、バドミントン部、卓球部、美術&マンガ部、茶道部、科学部、家庭科部、地理歴史研究部が、活発に部活動に取り組んでいます。



卒業後の主な進路(令和7年度)

【私立】 大阪産業大学(8名)、興国(4名)、大阪信愛(7名)、四条畷学園(2名)、常翔学園(14名)、大阪国際(2名)、桃山学院(2名)、上宮(5名)、大阪偕星(7名)、大阪学院(5名)、大阪夕陽丘学園(3名)、東海大仰星(3名)、近畿大学附属(5名)、大阪成蹊(2名)、好文(2名)、梅花(2名)、アナン(2名)、ヴェリタス城星(2名)、追手門大手前(2名)、関大北陽(3名)、太成学院(5名)、浪速(2名)、ルネサンス大阪(4名)、大阪つくば開成(4名) 他(四天王寺、プール、大阪、大阪桐蔭、関大一、金光藤蔭、常翔啓光、大商学園、箕面自由、明浄、ECCコンピューター、東洋学園、英風、天王寺学園、長尾谷、大阪YMCA、おおぞら、N高、S高、明誠、京都外大西、鹿島学園、天理、敦賀気比)

【公立】 旭(8名)、東(5名)、四條畷(4名)、桜宮(6名)、門真なみはや(2名)、芦間(6名)、淀川工科(5名)、汎愛(8名)、工芸(2名)、市岡(2名)、鶴見商業(4名)、住吉(2名)、大手前(3名)、高津(2名)、生野(2名)、柴島(2名)、桜和(6名)、門真西(2名)、夕陽丘(3名)、成城(2名)、桃谷(2名)、他(北野、天王寺、寝屋川、大塚、都島工業、泉尾工業、吹田、枚方なぎさ、港、いちりつ、香里丘、日新、清水谷)

令和7年度 卒業生徒数 215名